

2026

IMPACT REPORT

ねこから目線。

ねこから目線株式会社 第5期 2025/9〜2026/8



もくじ

1 ねこから目線。とは ...P.3

2 ねこから目線。の歩み ...P.4〜5

3 日本の猫問題の現状 ...P.6

4 ねこから目線。のサービス ...P.7

5 主要サービス報告 ...P.8〜14

6 その他取り組みの紹介 ...P.15〜17

7 メディア掲載 ...P.18

ねこから目線。とは

ノラ猫・保護猫専門のお手伝い屋さん

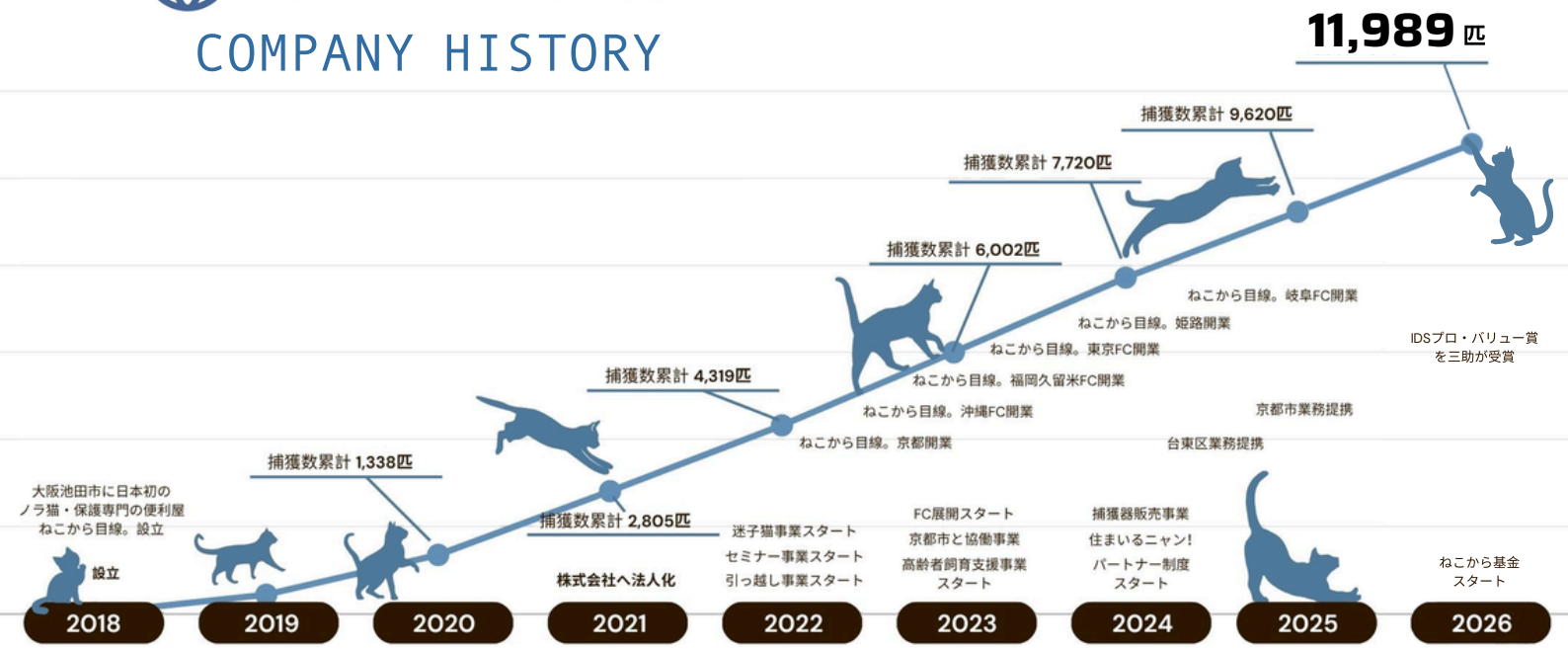
「ねこから目線。」は、”猫専門のお手伝い屋さん”を掲げる株式会社です。

猫が関わるトラブルの解消、猫さんのQOL向上、殺処分ゼロ達成をしていくために、必要だと説明できるサービスのみを提供しています。保護猫活動がすべてボランティア任せにならず、社会システムの中で機能する社会的企業となることで、ボランティアの負担軽減と保護活動のスピードアップと充実を図りたいと考えています。

個人、町会、行政機関、NPOや企業など、様々な立場の方々と連携しながら、日々模索と活動を続け設立から9年目に入ることができました。感謝の気持ちを込めて、第8期（法人5期）のインパクトレポートを公開いたします。

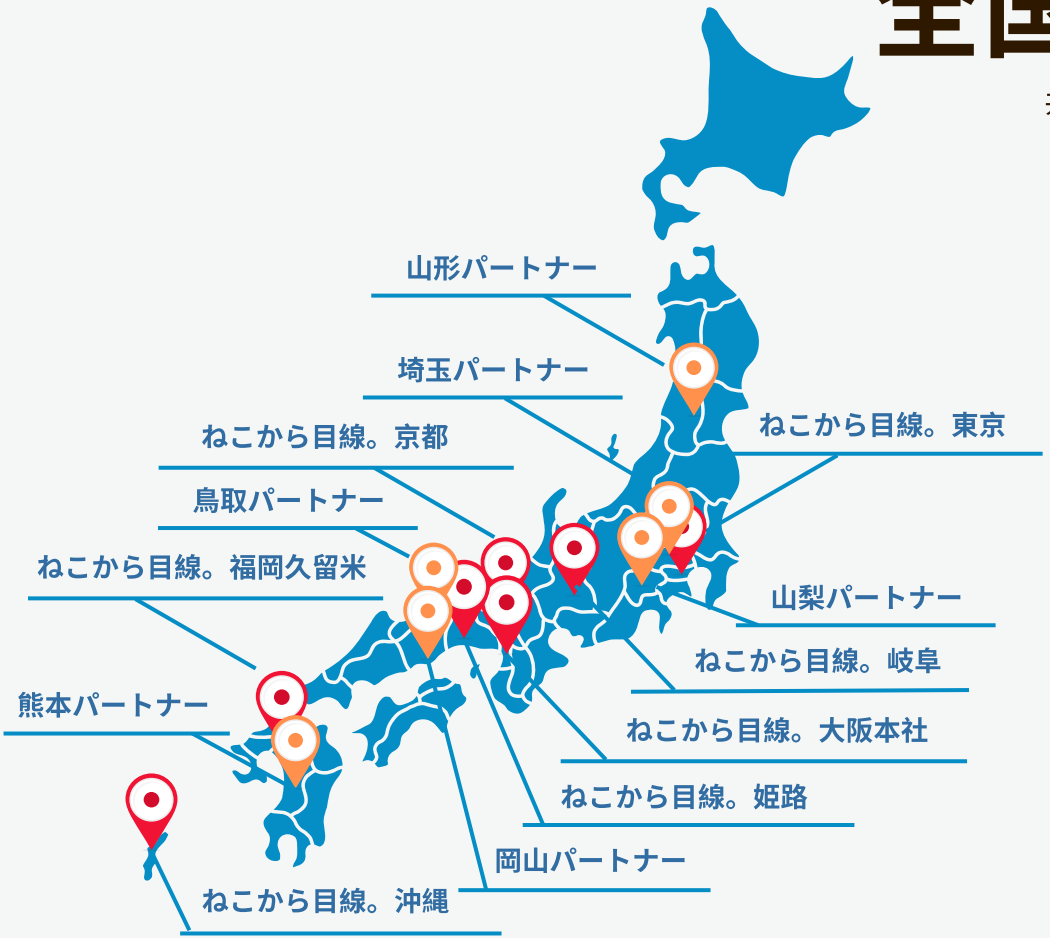
ねこから目線。

COMPANY HISTORY



全国への展開

共感してくれる仲間と拠点を増やし
各地の相談に対応したい！



直営店：３店舗

大阪本社・京都店・姫路店

FC店：４店舗

東京店・岐阜店・福岡久留米店・沖縄店

パートナー：７拠点

山形県・神奈川県・埼玉県・山梨県
鳥取県・岡山県・熊本県

14 地域

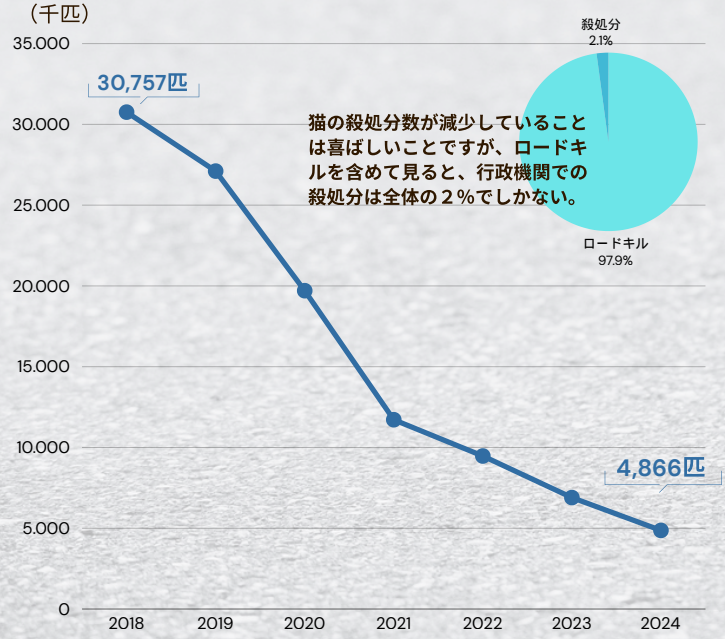
日本の猫問題の現状

ロードキル数

223,366



全国の行政機関における猫の殺処分数の推移



出典：環境省統計資料 「犬・猫の引取り及び負傷動物等の収容並びに処分の状況」

行政機関における猫の殺処分数は年々、大幅に減少しています。しかし、安易な引き取り拒否をして数字上の殺処分ゼロを達成している自治体も散見され、殺処分数が評価指標になりにくくなっている現状があります。

そのため、ねこから目線。では現在はロードキル数（路上死した遺体として回収されている猫の頭数）を重要な指標として捉えることに変えました。2023年の推計で、およそ**223,366匹**にのぼります（認定NPO法人人と動物の共生センター2024年全国ロードキル調査より）。

ロードキルも含めて、人知れず亡くなってしまう猫さんをなくしていきたいと考えています。

ねこから目線。の サービス

猫の殺処分ゼロの達成・維持には
複合的なアプローチが重要

ノラ猫へのアプローチ

捕獲
- TNRサポート
- 保護捕獲

開発
- 捕獲器の開発販売
- 周辺機器の開発

社会へのアプローチ

啓発
- オンライン勉強会主催
- セミナー講師派遣

行政連携
- 行政サービスの業務委託

保護猫へのアプローチ

まだ人慣れしていない
保護猫さんへの支援

ケア支援
- 室内捕獲
- 爪切り・トリミング
- 動物病院代理受診

保護環境が無い猫さんへの支援

シェルター運営
- 預かり型シェルター
- 自社保護の猫のケア

保護猫から飼い猫になるための支援

譲渡仲介
- 譲渡仲介サービス
- 譲渡会開催

飼い猫へのアプローチ

高齢者への飼育支援
- 飼い続ける支援
- 飼い始める支援

飼育環境整備
- 住まいるニャン!
（猫のための工務店）

迷子猫捜索
- 捜索捕獲
- オンライン相談
- 捜索セットの貸し出し

引越し支援
- ねこから目線。の引越し社

TNRサポート

ノラ猫さんの捕獲と不妊手術のサポート事業

976匹

（2025年9月～2026年8月末）

ねこから目線。で最も多いご依頼はTNR（ノラ猫さんを捕獲し、不妊手術をしたうえで、元の場所に戻すこと）のお手伝いです。

依頼主さんは、「偶然庭にノラ猫が通うようになって、餌をあげる責任として手術をしたい」という個人の方や、「地域のノラ猫をこれ以上増やさないようにしたい」という町会さんや会社さん、神社やお寺、行政など様々です。

なぜTNRが必要なのか

1度に5匹の子猫を、1年間に2回出産する平均的なメス猫さんがたった5年間だけ生きると仮定した場合、その生涯で出産する子猫の頭数は50匹に上ります。つまり、5年スパンで考えると、50匹の子猫の保護譲渡の活動と、1匹の親猫への不妊手術（TNR）の活動は、殺処分に対する予防効果が同じなのです。

ロードキル数が22万匹以上いる日本の現状では、予防効果が高く、低コストなTNRを多くのノラ猫さんに提供していくことが殺処分削減に最も必要な取り組みなのです。



室内捕獲対応

触れなくても大事な家族

1136匹



保護猫を家族に迎えてくださる方も年々増えていると感じます。それに伴い、まだ飼い主さんでも触れない猫さんの「室内捕獲」のご依頼が増えています。引越しや通院を目的とした依頼から、爪切りやブラッシングなど日々のケア目的のご依頼まで様々です。

　ねこから目線。ではなるべく猫さんにストレスをかけないよう、優しい室内捕獲や爪切りを心がけています。シャー猫さんの爪切りについて解説動画をInstagramに投稿したところ、27万回再生で大きな反響をいただきました。

里親譲渡102匹

（2025年9月～2026年8月末）

1年間で102匹の保護猫さんを里親さんに繋ぐことができました。
ノラ猫▶保護猫▶▶飼い猫へ



PICKUP CASE

多頭飼いのご高齢の飼い主さんのお家で、室内ノラ猫状態の母猫さんが９匹の子猫を出産。2匹は育たずになくなってしまったそうですが、7匹は元気に育ちました。
飼い主さんから、ねこから目線。に母猫さんの室内捕獲と避妊手術、子猫たちの里親募集依頼がありました。託していただいた子猫7匹はそれぞれ、素敵な家族に迎えられ幸せに過ごしています。写真は７匹のうち、一番最後に里親さんが決まった”ちいち”。ものすごく愛されています。

累計譲渡数 407匹

飼い続ける支援

高齢者と猫さんの暮らしを支える飼育支援

「飼い続ける支援」を始めてはや３年が経ちました。初年度からご利用いただいていた飼い主さんが体調を崩され、長期の入退院を繰り返すケースがありました。離れて暮らす息子さんや訪問看護の方と連携しながら、ギリギリまで在宅で猫さんとの生活をサポートしました。飼い主さんが亡くなってからは、息子さんが残された猫さんを引き取りたいと申し出てくださり、ペット可物件に引っ越すまでの１ヶ月間ねこから目線。で一時預かりをし、引越し後にお家へお届けをしました。事前に信頼関係を築けていたおかげで、慌てることなくスムーズにいきました。

11家族28匹

京都市で始まったサービスですが、現在は大阪府内にも拡大

迷子猫捜索

迷子になってしまった飼い猫さんの捜索から捕獲まで

38匹

（2025年9月～2026年8月末）

解決率

1日以内の依頼	92%
2～3日の依頼	82%
4~6日の依頼	77%
1週間以降の依頼	68%

平均解決率 83%



自宅や通院中など様々な場所から迷子になってしまった猫さんのSOSに対応しています。今期はTNRや保護捕獲などの依頼がとても多く、迷子の依頼をお断りせざるを得ないことが多くありました。頼ってくださる方の期待を裏切ることがないよう、来季は人員の増員と育成を図り、迷子猫の相談にもなるべく100%で対応できるようにしていきたいと思います。

累計保護数 493匹

勉強会・講師派遣

現場で培ってきた知識やスキルを社会へ還元

ねこから目線。の勉強会

猫のエイズと白血病 お世話の注意点や検査キットの信憑性について（話者：黄前鮎美）
多頭飼育崩壊予防に向けた行政との協働～京都市の事例を解説～（話者：小池英梨子）
ネコリパ流・人を巻き込む企画の作り方（話者：河瀬麻花）
保護初期やトライアル初期に起こりやすい3大トラブル（話者：落合優実）
最近あった事例集　～失敗からの学び～（話者：小池 英梨子）
シャーねこさんの室内捕獲&爪切り（話者：藤久 海地）
保護から譲渡までに必要な医療ケアとそのタイミング（話者：橋本 恵莉子）
保護猫活動におけるトラブルと法的な予防策（話者：細川 敦史・岸本 悟）
京都山中遺棄事件について解説と後日談の話（話者：小池 英梨子）
猫に優しい捕獲講座～警戒心の強い猫をつくらない為の捕獲技術～（話者：小松達成）
猫に優しい捕獲講座～ドロップトラップの応用技術編～（話者：藤久海地）
ペットの信託～自分に何かあった時、飼い猫を守る方法～（話者：田代さとみ）
愛猫を守るための有効な遺言書作成のポイント（話者：田代さとみ）

講師派遣

猫が教えてくれた社会を変える仕事の作り方
京都光華女子大学／パナソニック大阪

猫に優しい捕獲講座
町田動物愛護の会さん主催セミナー

TNRと地域猫の理論と実践講座
大阪公立大学 ／立命館大学

受講者数

1110名

（2025年9月～2026年8月末）



レスキュー
保護捕獲対応

493匹

被害者が動物でも
当たり前に事件と
認知される社会へ

京都の山中にふわふわの長毛種が21匹も遺棄された事件が発生しました。発見者の方から相談を受け、地元のボランティアさんと協力しながら４日間に渡り、捕獲と捜索を繰り返し、全頭を保護しました。警察へ動物遺棄事件として通報し、捜査してもらいましたが、初動の遅さもあり犯人の特定には至りませんでした。動物遺棄も虐待も立派な犯罪行為であるということを社会が当たり前に認識してくれるようになるまで、必死に訴え続けるのも、ねこから目線。の大切なミッションです。 **動物遺棄、虐待案件は「ねこから基金」を財源に無料で即対応するようにしています!**



「猫のことが気になる」あなたの寄付で、助かる猫がいます

ねこから基金

サポーター数

1269人

ねこから目線。はノラ猫・保護猫専門のお手伝い屋さんとして、保護活動をしたいと思う個人・会社・行政を支えてきました。

お手伝いという形で依頼を受けることで、企業としての継続性を担保しながら活動を続けてきました。その一方で、個人の依頼主さまだけでは負担が大きすぎる大怪我の猫さん、依頼主さまが存在しない場所の猫さん、そういった猫さんたちも、**“みんなで少しずつ支える”**そんな仕組みの必要性もひしひしと感じていました。

「もっと早く、もっとたくさんの猫さんに支援を届けられるようにしたい」という現場スタッフの想い。「もっと猫さんのために自分の代わりに動いてほしい！」というサポーターさまからの要望に応えるために「ねこから基金」が本格始動しました。

オープンシェルターDAY!!
定期開催はじめました

社会に開かれたシェルターへ

保護猫活動や社会的企業のことをより多くの方に知っていただくために、ねこから目線。の本社を一般公開する「オープンシェルターDAY！」を開催することで、「保護猫のシェルターってどんなところ？」「ねこから目線。のスタッフはどんなところで働いているの？」という疑問にお答えし、より地域や社会に開かれた存在になりたいと思い企画しました！

各月で開催し、まずはガレージで普段のスタッフの仕事風景の紹介。１階事務所では、捕獲器やトレイルカメラなど仕事に欠かせない道具の紹介をします。そして２階のシェルタールーム4部屋を見ていただき、オーダーメイドの個室ケアルームの特徴も見て触って体感していただきます。最後に3階の屋上キャットラン兼洗濯物干し場と、宿泊スタッフの泊まり部屋をご案内しました！

すでにボランティア活動をされている方や、活動はしていないけど保護活動に興味があったという方など、毎回予約枠がいっぱいになってしまうくらい、多くの方に興味を持ってご参加いただけました！来期も継続していきたいと思います。



保護猫活動を支援する三助
IDSプロ・バリュー賞を受賞

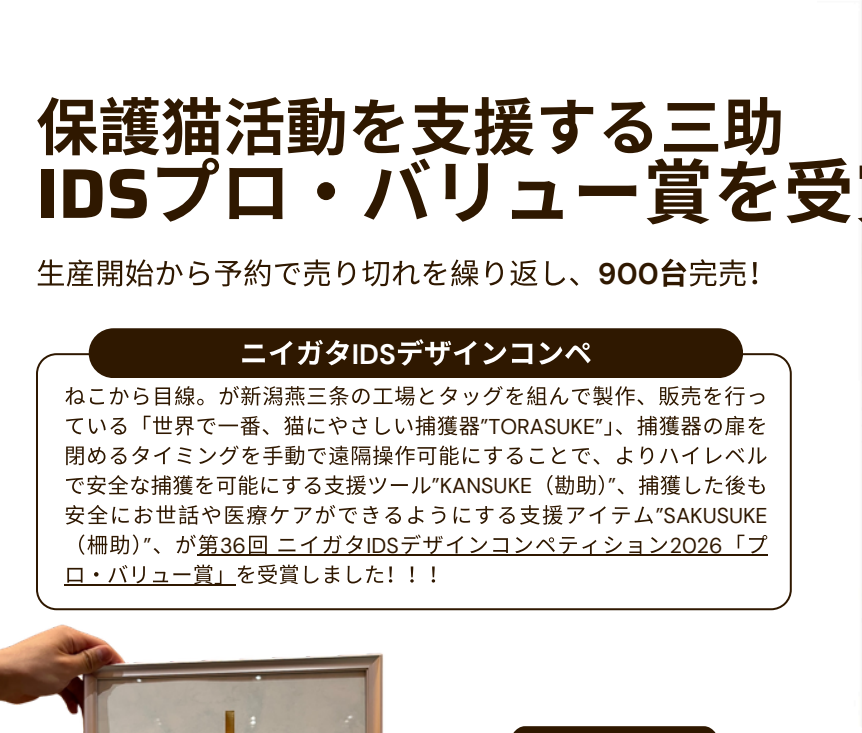
生産開始から予約で売り切れを繰り返し、**900台**完売!

ニイガタIDSデザインコンペ

ねこから目線。が新潟燕三条の工場とタッグを組んで製作、販売を行っている「世界で一番、猫にやさしい捕獲器"TORASUKE"」、捕獲器の扉を閉めるタイミングを手動で遠隔操作可能にすることで、よりハイレベルで安全な捕獲を可能にする支援ツール"KANSUKE（勘助）"、捕獲した後も安全にお世話や医療ケアができるようにする支援アイテム"SAKUSUKE（柵助）"、が第36回 ニイガタIDSデザインコンペティション2026「プロ・バリュー賞」を受賞しました！！！



三助紹介動画



TORASUKE

価　格／18,150円(税込)
材　質／18-8ステンレス
　　アクリル樹脂
サイズ／幅　290mm
　　奥行　630mm
　　高さ　295mm
重　量／2,700g

SAKUSUKE（柵助）

価　格／8,800円(税込)
材　質／18-8ステンレス
サイズ／幅　250mm
　　奥行　10mm
　　高さ　450mm
重　量／1,048g

KANSUKE（勘助）

価　格／1,100円(税込)
材　質／18-8ステンレス
サイズ／幅　36mm
　　奥行　2mm
　　高さ　45mm
重　量／2g

猫の安全を最優先に設計した捕獲器に、柵・フックを組み合わせた捕獲支援システム。自然落下式扉は遠隔操作で任意のタイミングでも作動可能で、ターゲット捕獲から多頭保護、捕獲後の世話まで安心・安全に行えます。

ねこから目線株式会社
〒534-0021 大阪府大阪市都島区都島本通3丁目26-29
tel.070-2291-0780
https://nekokaramesen.com

受賞理由

- 猫保護団体に対し、新潟県内メーカーが高レベルな要件ヒアリングとデザイン力で協力した捕獲器。
- バネを使わず、素材の重量で蓋が閉まり、内側から開かない機構を実現。猫を驚かせず、尾を挟んでもケガをしにくい。本体は強度を確保しながら軽量に、餌やりや注射時に活躍する柵は、猫が暴れることを考慮し頑丈に、と使用シーンが徹底的に分析されている。
- 社会課題でもあるため、商品と取組み、両方の認知拡大を図ってほしい。

メディア掲載

沢山の関心に感謝です！





産経新聞の夕刊２面に月１回連載
2024年から連載スタートし、3年目継続しています。

ねこから目線。の現場から





◀▲見開き２ページも！



朝日放送テレビの「NEWSおかえり」スポットライトコーナーにて、ねこから目線。が密着取材を受けました！

メディア掲載一覧はHPでご覧いただけます！

ねこのきもち10月号に特集されました！



１つの愛護団体だけが頑張っても社会を変えることは難しい。でも、一人一人、あるいは一つの町内が「地元の愛護団体と一緒に頑張る」というスタンスを取ってくれたら、その地域は確実に変わります。
変わる地域が増えていけば、いつか社会が変わる。
そんな地域の動物愛護を支える基盤に、
ねこから目線。もなりたいと夢見ています。

ねこから目線。

すべての猫が惜しまれて旅立っていける社会を目指して

thank you